

市事務事業の外部評価結果

～市外部評価委員会～

学識経験者と公募による市民で構成する市外部評価委員会（委員 7 人）は、本市が相馬市総合計画「マスタープラン 2017」に基づき、令和 6 年度の重点施策実行計画として定めた 53 施策の中から、20 の事務事業を選定して評価を行い、令和 6 年 12 月 19 日、市長に評価結果を報告しました。

評価に当たっては、全 6 回の委員会を開催し、担当課へのヒアリングや現地視察などを行い、各事務事業の取り組み状況の検証を行いました。

市では、この評価結果を今後の事務事業の改革・改善に反映していきます。



【総評】

●近年の急激な物価高騰や、急速に進展する少子高齢化・人口減少など、社会情勢がますます厳しさを増している中、流入人口の増加などのさまざまな課題に対応できる能力と意欲の高い人材が必要となっています。研修制度や人事評価制度の充実を図り、職員能力と組織力の向上に努めてください。また公平で分かりやすい税負担と歳出適正化により財政健全化を図りつつも、行政サービスの質の低下を招かないよう、バランスの良い財政運営を行ってください。

●ライフスタイルや価値観が多様化する中、従来の地域コミュニティの維持が困難となりつつあります。防災・防犯やごみの問題など、自分たちの住む地域の在り方を考えることは、相馬市の将来に関わる問題です。関係者の意見をよく聴き、時代に即した運営方法となることを目指してください。また、将来を担う子どもたちが健やかに育つように、地域全体で子育てを応援していく気運の醸成と、教育環境の整備、教員の指導力向上に努めてください。

●誰もが安心して暮らすことができ、活躍できる相馬市であるために、ノーマライゼーションの理念の共有や、健康寿命の延長のための啓発活動、介護サービスの安定的な提供、市民の生きがいづくりにつながる良質な生涯学習環境の提供に努めてください。また、お出かけの足として誰もが使いやすい公共交通を提供できるよう、たゆまぬ改善をお願いします。

●スポーツツーリズムの推進と、施設の増築により集客力を強化する浜の駅松川浦を中心に、おもてなしの体制を強化し、より一層の交流人口の拡大を図ってください。併せて、各種スポーツ施設は市民の健康づくりやコミュニティ形成の拠点として大いに活用されるよう、また浜の駅松川浦は地産地消の拠点として地元市民はもとより、県内外から訪れる人にも長く愛される施設となるよう、企画運営に当たってください。

【評価結果】

▽20 の事務事業について「A」「B」「C」「D」の 4 段階評価を行った結果は、次のとおりです。
▽評価点数は、7 人の委員が事務事業ごとに事業の妥当性や効率性などを 5 点満点で評価したものの平均です。

評価	今年度 事業数	昨年度 事業数
A= 必要かつ有効であり推進することが妥当	5	8
B= 改善を図りながら継続することが妥当	15	13
C= 一部修正・再検討が必要	0	0
D= 見直し・休止・廃止について検討が必要	0	0
合計	20	21

●事務事業ごとの評価

No.	事務事業名	点数	評価	コメント
1	子育て支援活動の充実	3.9	B	子育て支援活動やイベント内容の充実を図るとともに、必要な方に確実に情報が行き届くよう、周知方法について継続的な改善をお願いします。子育てを地域全体で支えていくための気運を醸成し、市民や市外からも子育てしやすい地域として認識されるよう、市の取り組みや目標に関する情報発信を強化してください。併せて、現場を担う保育士不足を解消するための対応もお願いします。

市事務事業の外部評価結果～市外部評価委員会～

No.	事務事業名	点数	評価	コメント
2	健康づくりの情報発信と意識の向上	3.7	B	市の健康指標は県内でワーストクラスであり、健康づくりのきっかけとして、多くの市民が気軽にかつ継続的に取り組むことが必要です。本事業の利用率を上げるためには、利用者にとってのインセンティブを高めることが求められますが、事業者への協力依頼を中心としたこれまでのアプローチではいずれ頭打ちになると思われるので、地域での声掛けによりお互いの健康意識を高め合うなどのアプローチも検討願います。
3	市税収納率向上	4.0	A	収納率をさらに高めるために、納税の持つ意味や公平な税負担について、市民が理解を深めるような情報発信に努めてください。また、税の公平性を保つため、滞納者への厳格な対応とともに、一人一人の経済状況に応じた解決策を提示するなど、丁寧な対応をお願いします。併せて、課税内容や納期に関する分かりやすい説明や、電子納付方法の拡充など、納税しやすい環境を整備して、さらなる収納率の向上を目指してください。
4	ノーマライゼーションの理念の更なる普及・啓発と相談支援の充実	3.6	B	誰もが安心して暮らすことができ、活躍できる相馬市であるために、市民全体で障がいのある方の暮らしを守っていく必要があります。そのために、講演会や研修会の継続的な実施や、学校への出前講座などを通じて、市民がノーマライゼーションの理念を共有し、手話や点字など、さまざまな事柄に幼児のうちから触れることができる環境の実現に努めてください。
5	各地区の生活道路の整備	3.9	B	生活道路や歩道の整備は、通学・通勤や買い物・通院など、市民の日常生活利便性や、災害発生時の避難道路の確保のために極めて重要な事業です。各地区での住民の要望に応えられるよう、引き続き市民の声に耳を傾け、国や県とも連携の上、計画的な整備をお願いします。
6	農産物の安全性のPRと地産地消の推進	3.9	B	今後も引き続き、学校給食でたくさんの地元産食材を使用し、児童・生徒に地元産農産物に親しんでもらうとともに、地産地消を推進してください。また、道の駅そうまや浜の駅松川浦などの施設の活用や、JAとの協力体制の強化、地元企業と連携した消費拡大のためのイベントの強化など、消費拡大のための取り組みを検討してください。さらには、全国に向けて、相馬産農産物のPRを行い、風評払拭・消費拡大に努めてください。
7	浜の駅松川浦の増築整備	3.5	B	浜の駅松川浦は、相馬で一番の集客力を持つ観光施設です。増築により施設機能が強化されることは歓迎されますが、市の観光の核として、また市民にも愛される施設として末永く継続するためには、物販のみではなく、日常では得られないような体験を提供することが不可欠と考えられます。併せて、来客者の総合的な満足度を高めるため、今後は店舗周辺の環境整備も含め、おもてなしの体制を築いてください。
8	多様な特別企画講座の開催による学習機会の提供	4.6	A	良質な生涯学習環境の提供は、市民の生きがいや社会参画のきっかけをつくることから、市民満足度を高めるために極めて重要な施策の一つです。今後もさまざまな年齢層や、初心者から上級者まで段階的に満足できるカリキュラム構成、地元企業の専門性を生かした連携講座など、幅広い方々が興味を持てるような講座を企画してください。併せて、多くの市民が情報をチェックしたくなるような周知方法の工夫をお願いします。
9	スポーツ施設の維持管理と利活用の推進	4.3	A	今後も観光部門と連携して各種大会や合宿の誘致による市外からの利用者増加を図ってください。また、体育館への空調設備導入の早期実現と、昨今の物価高騰の状況も踏まえた利用料の改定についても検討願います。持続可能な施設運営のためには、市民の利活用促進や施設管理者の継続的な確保などが課題となります。施設を市民の健康づくりやコミュニティ形成の拠点として捉え、さまざまなイベントが実施されるよう、企画運営をお願いします。
10	マイナンバーカードの保有率の向上と利用促進	3.9	B	マイナンバーカードの保有は進んできました。今後は、利活用の促進についての取り組みが必要となります。利用することによるメリットが具体的に感じられるような施策を検討してください。一方で、市民にとっては個人情報の安全性についての漠然とした不安感には十分に払拭されたとは言えない状況です。今後も信頼構築のためのPRをお願いします。
11	特定健康診査受診率の向上	4.2	A	特定検診の受診率向上は、市民の健康寿命延長のため重要な取り組みです。県内でワーストクラスである市の健康指標の周知など、生活習慣病改善の意識付けとともに、SNSの活用や病院・診療所と連携した対象者への情報提供など、効果の期待できる周知施策を検討してください。また、週末や朝夕の時間枠の拡大など、受診しやすい環境の整備にも努め、受診率向上につなげてください。

No.	事務事業名	点数	評価	コメント
12	ごみ減量化再資源化の更なる推進	3.6	B	ごみの分別・減量化・再資源化はSDGsの観点からも重要なことであり、市民一人一人の行動変容が必要となることから、あらゆる機会を利用し市民への啓発活動を続けてください。また、不要品を譲渡しリユースすることは、ごみの減量につながります。リユースを促進するための仕組みの整備をお願いします。ごみ出しのマナー改善と分別徹底のため、指定ごみ袋の使用を推奨し、また、ごみ処理の有料化については、近隣自治体の動向を踏まえつつ、必要性について検討を重ねてください。
13	事業検証等による歳出削減を通じた財政健全化の推進	4.2	A	財政調整基金の30億円堅持という目標は、物価高や経済情勢などにより、適正値が変動する可能性があるため、定期的な見直しを行ってください。今後も既存事業の積極的な見直しを行い、財政健全化を図りつつ、市民サービスの低下を招かないよう留意してください。また市政において必要な投資や子どもたちへの投資などは惜しむことのないよう、歳入・歳出のバランスを適切に管理してください。
14	公共交通の現状分析と改善素案の作成	3.4	B	おでかけミニバスは利用率や利便性の面での課題があり、抜本的な改善が必要と思われます。今後ますます増加が見込まれる、自由な移動手段を持たない市民に対して、行政のサポートが必要です。利用者や関係者の声を聴き、丁寧な調整を行い、適切な移動手段を提供できるよう事業を進めてください。また、国の動向や他自治体の先進事例を注視し、ライドシェアの導入や自動運転車導入を適切に進めるための準備をお願いします。
15	介護予防の推進と介護人材の確保	3.8	B	高齢化率の上昇が見込まれる中、介護人材の確保は重要な課題です。人材確保のためには、介護人材の「処遇」と「やりがい」を共に高めるような施策が求められます。また、研修に参加しやすくなるような環境の整備や、男性の参加を増やすための工夫をお願いします。今後も、骨太けんこう体操をはじめとした介護予防策の推進と、介護人材教育を両輪で推進してください。
16	継続的な歴史資料の展示と資料の保護、保存	3.9	B	相馬地方の歴史と文化の継承のために、今後も丁寧な資料の収集、保護、保存に努めてください。歴史資料収蔵館が相馬の観光コースの一つとなるよう、展示物のデジタル化やVRによる展示など、見せ方に関する改善も期待します。また、パンフレットの多言語化や内容の随時見直しを行ってください。歴史資料の取り扱いには専門的な知識を要する分野であることから、学芸員の配置と人材の育成について配慮をお願いします。
17	市民会館の利活用促進	3.6	B	市民会館は市民の大切な財産です。十分な利活用がなされるよう、継続的な評価・改善を行いながら運営にあたってください。音響・照明設備の取り扱いについては、来客者の満足度や評判に大きく影響する部分ですので、職員の技術向上も含めしっかり取り組んでください。今後も、地元のニーズに合ったさまざまなイベントを柔軟に企画し、利活用に努めてください。
18	授業の質的改善と家庭学習の充実	3.8	B	子どもたちは相馬の将来の宝です。子どもたちに将来必要となる基本的な力をつけるため、教育環境の整備、教員の指導力向上、家庭学習の実施指導をお願いします。ICTを活用した教育が普及してきた現代においても、字を書くこと・読むことによる学習には普遍的な効果があると思われますので、今後も大切にし、継続してください。家庭学習やそれ以外の面でも保護者の悩みや苦勞もさまざまあるかと思われますので、保護者のサポートの充実についても検討願います。
19	行政区の運営についての検討と加入促進	3.5	B	行政区加入率向上に向けた課題として、地域の草刈りや街灯の維持などの受益と負担に関する整理と、回覧板や役員事務などの負担の軽減が挙げられます。行政区の持つ役割や必要性、時代に即した運営方法など、改めて整理をすべき時期に差し掛かっていると思いますので、加入者・未加入者双方のさまざまな意見を踏まえ、自分たちの住む地域をどうしたいか、どのように守るかといった話し合いの場を持つことを期待します。
20	人材の育成	3.6	B	急速に変化する情勢、市民ニーズに臨機応変に対処・対応でき、意欲の高い人材を育成するため、人事評価制度や研修制度の整備に努めてください。また、業務能力だけでなく、市民対応についても、常に明るい雰囲気窓口となるよう意識し、職員の対応能力を向上するための取り組みをお願いします。窓口対応については、外部の目で客観的に評価する仕組みも有効と思われるので、検討をお願いします。

外部評価委員からひとこと

◆梶田浩二委員長

今期は任期の1年目で新任委員が3人も増え、何かと時間が限られた中での評価は大変ご苦労されたと思います。20事業の評価にあたり、各担当課の詳しい資料とヒアリング時の事業内容の詳細な説明により、委員それぞれの厳しい目線での評価ができたものと思っています。担当課の方々には厳しい意見を述べるなどご苦労をお掛けし、大変お世話になりました。次期も新委員が慣れたことでさまざまな意見が出るものと思いますが、対応の程どうぞよろしくお願いいたします。

◆我妻大委員

今年度、外部評価委員会に初めて参加させていただき、市では市民に寄り添った幅広い分野でさまざまな施策に取り組んでいることを知ることができました。今後も市民一人一人が安心安全に暮らせるまちづくりや、子どもたちが夢や希望を持って成長できる相馬市を目指して、市民と行政が一体となり課題解決に向けて取り組まれることを期待しております。

◆伊藤順一郎委員

今年度が初めての参加でした。さまざまな事業を評価する中で、予算的使用方法によって相馬市の発展の可能性は無限大なんだと感じました。同時に課題・難題を放置していれば衰退していつてしまう恐ろしさも感じました。1年間、とても良い勉強をさせていただきました。

◆伊東千恵子委員

外部評価結果を無事に報告することができました。協力してくださった職員の皆さまに感謝申し上げます。結果は、もう少し市民の皆さまに寄り添った事業の展開を期待するとのことでした。交流人口の拡大、地産地消への取り組みを推し進めて、活気ある相馬を皆で創っていききたいと思います。

◆木幡洋平委員

外部評価委員を務めて3年目、この経験をもとに今年はとても充実した委員会運営ができました。また新たなメンバーも加わり、自分では考えられない視点からの発想や指摘があり、自分自身大変勉強になった1年間でした。評価の内容については、昨年に引き続き大変厳しいものにはなっておりますが、これは委員全員が市民の代表として真剣に議論し、評価した結果だと思います。相馬市民一人一人の声が市政に反映され、毎日がワクワクするような楽しい相馬市になるようご祈念いたします。

◆宮田真委員

この度、外部評価委員として貴重な機会をいただき、心から感謝を申し上げます。人口減少への備えなどの喫緊の課題に対して、職員の皆さまが真摯（しんし）に取り組んでいることに深い敬意をいただきました。今後も市民一人一人が安心して暮らせるまちづくりを目指して、引き続きご尽力くださいますようよろしくお願いいたします。

◆鈴木妙子委員

今年度、初めて外部評価委員会に参加させていただき、市として多くの事業に取り組んでいる事を聞かせていただきました。市の取り組みが、市民のより良い生活につながるよう、お願いしたいと思います。

●問い合わせ先 企画政策課（☎ 37-2132）